



旧来の定義では「1point=1/72.27inchi」でしたが、現在では、パソコンの主流のPostScriptの計算式にのっとって1point=「1point=1/72inchi」としています。

しかしながら、四捨五入の桁数によって、数値に微差が生じる場合があります。

●級

写植組版で使われ始めた日本語組版の文字サイズ単位。

1級=0.25ミリで、1ミリの1/4 (= Quarter) であることから「Q」と略されたりします。

4Q (級) =1ミリになります。

級→ポイント

級数を1.41で割れば、ほぼ同サイズのポイントがわかります。

$$62\text{級} \div 1.41 = 44\text{pt (約)}$$

●ポイント (point)

欧米の活字に基づく単位。1ポイントは約1/72インチ。

パソコンの方では、ユーザー側が変えない限りは文字サイズの単位はポイントになっています。

「pt」「P」と略されることも多いです。

ポイント→級

ポイントに1.41をかければ、ほぼ同サイズのポイントがわかります。

$$44\text{pt} \times 1.41 = 62\text{級 (約)}$$

●ミリへの換算

級数を4で割ればちょうどその大きさをミリで表せます。

$$62\text{級} \div 4 = 15.5\text{mm}$$

●号

日本の活字のサイズ。初号・1号～8号まであります。